

# CITY THEATRICAL

NEW YORK • LONDON

ワイヤレスDMX 小型ディマユニット  
マルチパス QolorFLEX 2x2.5A

P/N 5916

ユーザーマニュアル

Ver. 1.1



マルチパス製品は米国特許#7,432,803,B2, #10,129,964 B1をはじめ  
その他特許権に保護されています。設計・製造はアメリカ合衆国です。

# 目次

## 目次

### 1. はじめに

安全性に関して

### 2. コンプライアンス

2-1. IC ステートメント

2-2. CEマーク準拠

### 3. ご紹介

3-1. 特徴

3-2. パーツナンバー

3-3. 本体の詳細

3-4. 設置方法について

### 4. 製品仕様

### 5. 機能構成

5-1. ケーブルの接続について

5-2. マルチバース、DMX、RDMの各設定

出荷時の初期設定

各種設定について

5-3. RDMの設定について

DMX スクリーン

ディマースクリーン

マルチバーススクリーン

センサースクリーン

インフォメーションスクリーン

5-4. マルチバースSHoW IDの設定

SHoW DMX Neo SHoW ID

5-5. システム図表

### 6. トラブルシュート

6-1. ファームウェアのアップデート

6-2. アクセサリー

## 1. はじめに

### 安全性に関して

- この製品は、湿気のない環境下での使用のみに対応します。雨や湿気の多い場所では、無線機能へのダメージや、電氣的ショートを起こす場合があります。
- 電源を入れる前に、全ての外部接続ワイヤーが正常に接続されているかお確かめください。

## 2. コンプライアンス

本製品は連邦通信委員会（FCC）の規定第15条に準拠しています。

使用に関しては以下2つの条件下の対象となります：

1. 本製品は有害な干渉を起こしません。
2. 本製品はあらゆる干渉をも受信し、その干渉が不本意な状況下からの発信であっても同様です。



本製品をユーザー自らの判断で内部の変更や改造等行うことは明確に許可されてはいません。

### 2-1. IC ステートメント

本製品はカナダ産業省によるライセンス免除RSSに準拠しています。

使用に関しては以下2つの条件下の対象となります：

1. 本製品は有害な干渉を起こしません。
2. 本製品はあらゆる干渉をも受信し、その干渉が不本意な状況下からの発信であっても同様です。

### 2-2. CEマーク準拠

City Theatrical社はこの製品における取扱説明書に記述された機能特徴を全て確認し、欧州における無線機器指令2014/53/EUに準ずることを宣言します。

- EN 301 489-1, 301 489-18 無線装置への電磁的両立性(EMC)規格
- EN 62832 安全規格
- EN 300 328 無線機器欧州規格



本製品は全ての欧州諸国ならびにEFTA(欧州自由貿易連合)にて使用される事を意図して設計されています。野外での使用は、いくつかの周波数が制限される、もしくはその使用に資格が必要な場合があります。その地域の機関にお問い合わせ頂き、その手続きや手順に従ってください。



アンテナの取り付け、取り外し作業前には必ず静電気除去作業を行なってください。



出力レベルやアンテナを組み合わせ、100mW以上の送信出力で使用する事は、欧州諸国において採用されている上記の無線機器指令2014/53/EUに適合いたしません。適切な出力レベルやアンテナの組み合わせに対する詳細に関しましては、City Theatrical Inc.にお問い合わせください。この機器を湿気の多い場所、例えば水気のある地下やプールの近くなどでは使用しないでください。また、雷などの気象状況下での使用も避けてください。落雷から間接的に電気障害を受ける場合がございます。

法規に関する情報  
無線周波数に対する通知

## 3. ご紹介

QolorFlex 2x2.5A 2.4GHz マルチバースディマー(P/N5916) は、一定の電圧を必要とし、舞台美術の柱や衣装、小道具の杖やキャンドルなど、大変小さなスペースに設置することができる2つの出力ポートを搭載した調光機器です。City Theatrical社による無線制御（マルチバーステクノロジー）により同社のSHoW DMX Neoをはじめ、無線DMX/RDM機能を使用することができます。

調光機能は20ビットのパルス幅変調による高解像度をはじめ、8ビット、16ビットの調光にも対応し、低い値でフェードした際も、驚くほどスムーズな調光カーブをご提供いたします。RDMに対応した機能により、City Theatrical社によるDMXcatRや同社製のUSB接続のよるPC/MACソフトウェアにもご使用になれます。本製品を格納するプラスチックケースを同梱し、このケースにより簡単に舞台美術等へ設置することができるだけでなく、接続したワイヤーも簡単に取り外しすることができます。本製品はCity Theatrical社により設計され、完全米国製です。

### 3-1. 特徴

- 舞台美術の柱や衣装への組み込みをはじめ、シンプルなオンオフのみの機器への使用に最適。
- 無線、有線によるDMX入力が可能。
- DMX出力は有線接続により出力されます。
- 専用のプラスチックケースを同梱。
- 全てのマルチバース2.4GHz製品やSHoW DMX SHoW Neo SHoW Babyとの使用が可能。
- DMXターミネーションのオン/オフスイッチを内蔵。
- チャンネルごとにレベルを表示するインジケータを搭載。
- チャンネルごとのPMW解像度、レスポンスタイム、調光カーブ選択や調整が可能。
- チャンネルごとにバンプボタン（オフ可能）を搭載。
- チャンネルごとに、オフセット調整が可能であり、同じ値でも早く点灯してしまうチャンネルなどに対し、均一になるよう微調整することが可能です。（特に低い値での使用時に重要な設定となります）

販売店：裏方屋ドットコム  
[info@urakataya.com](mailto:info@urakataya.com)  
<https://www.urakataya.com>

03-5843-4354

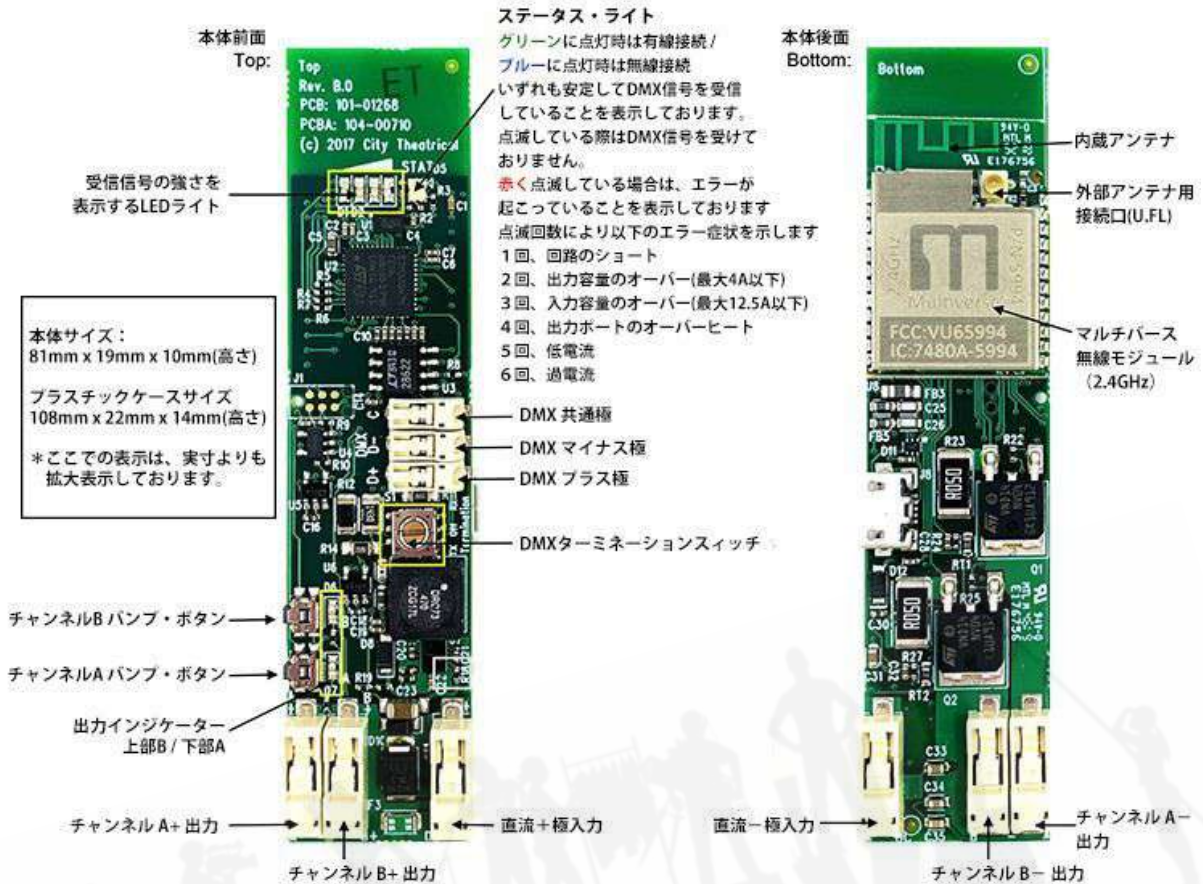
- DMX信号喪失時のオプション選択が可能。
- マイクロUSBポートを利用し、本製品のアップデートや設定を行うことができます。・電源ケーブル、ディマー出力、DMX、それぞれシンプルに取り外し可能なラッチ接続を採用。
- クラス2にあたる出力ポート。
- エラー検知機能と、回路ショート発生時や、容量オーバー、低電流/過電流、本体のオーバーヒート時などに点灯する、シグナルライト内蔵。

## 3-2. パーツナンバー

パーツナンバー	商品名
5 9 1 6	QolorFlex 2x2.5A 2.4GHz マルチバース ディマー

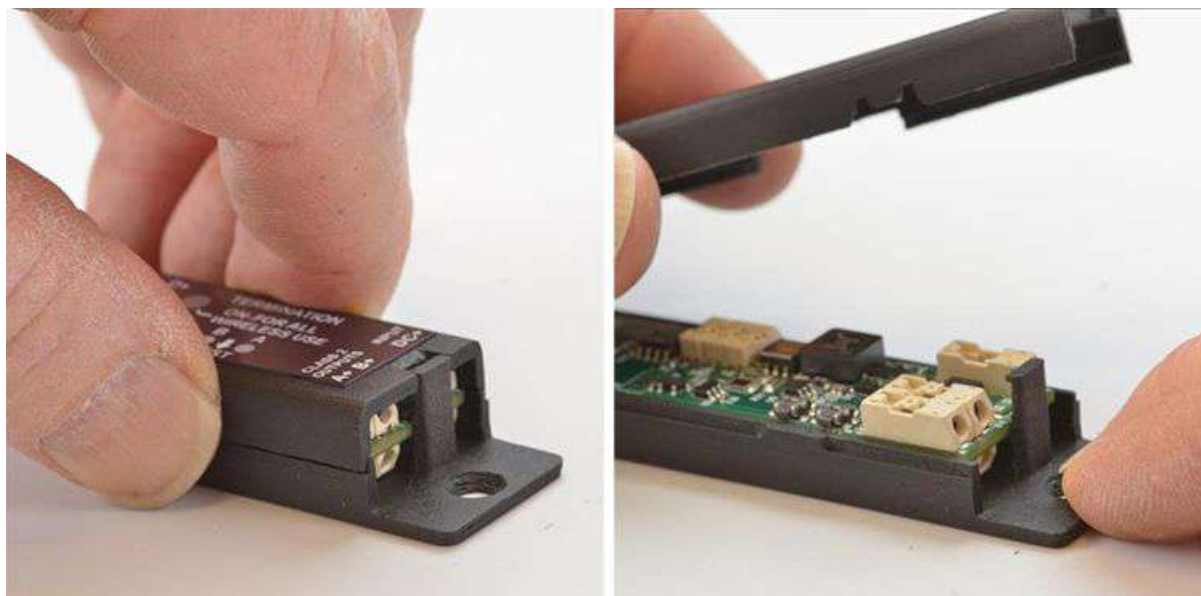
## 3-3. 本体の詳細

この説明書の写真は、実物大よりも大きなものになっています。

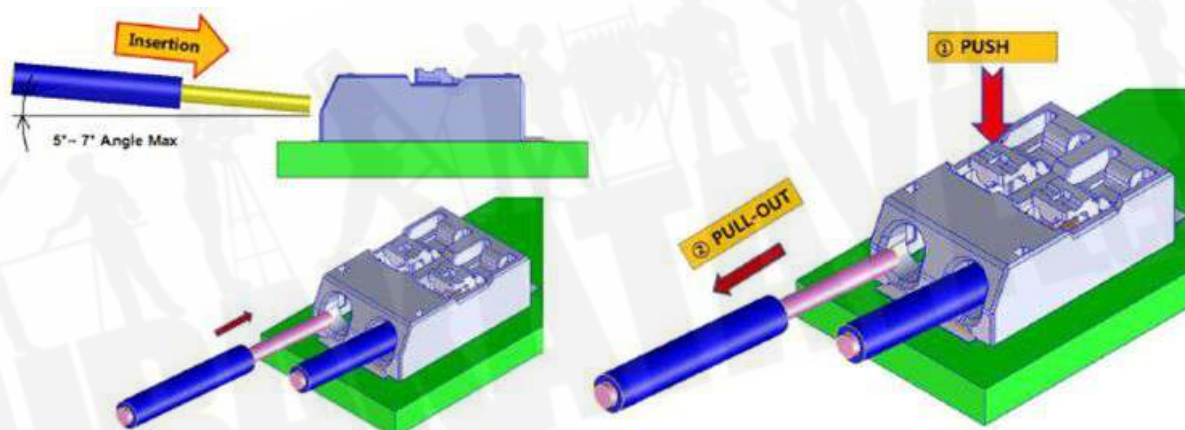


### 3-4. 設置方法について

QolorFlex 2x2.5Aマルチバースディマーには専用のプラスチックケースが同梱されています。外側の2つの取り付け穴は、舞台美術などへの設置用に使用していただけます。ディマー本体を取り出す際は、ロックタブを引っ掛けていただければ、カバーを取り外すことができます。



ワイヤーの挿入は、穴へワイヤーを滑り込ませる形で行います。（その際、タブを押す必要はありません）ワイヤーを引き抜く際は、タブを押してください。



## 4. 製品仕様

### 仕様

使用周波数	2.4GHz
対応ユニバース数	1
プラスチックケース サイズ	(長さ)108mm x (幅)22mm x (厚み)14mm
回路ボード本体 サイズ	(長さ)81mm x (幅)19mm x (厚み)10mm
重量	0.02kg

使用時の本体温度	0°C~40°C
構造	NEMA4 IP20 ABS プラスチック
接続部	取り外しが可能なコネクタ
設置器具	プラスチックケースに付いたネジ用取り付け穴

**調光に関する詳細**

入力電源	5-30VDC
パルス幅変調 (Hz) 数	60 ican, 1.2K LED, 1.2K キャンドルモード, 2.4K LED, 5K LED, 12K LED, 24K LED, 50K LED,
電気容量	4A, 全てのチャンネルを最大出力時 : トータルで5A
制御解像度	8ビット ; 16ビット
パルス幅変調高解像度	20ビット

**無線技術に関する詳細**

送信パワー	アンテナの選択によります ; 100mW EIRP
送信モード数	Adaptive(順応モード) , Full, Low, Mid, High, Max
イーサネット	対応していません
SHoW ID	マルチバース:147; Neo:70
レイテンシー	4ms (平均)
RF感度	-95dBm
アンテナ	内蔵アンテナ、外部アンテナ用 U.FL コネクタ
RDM機能	RDM プロキシ, RDMレスポnder

**製品情報**

機能	RDM、City Theatrical社による機能プログラム (Win/Mac)
使用環境	屋内
生産国	アメリカ
コンプライアンス	CE, RoHS, FCC, AU, Japan, IC



## 5. 機能構成

### 5-1. ケーブルの接続について

Qolor FLEX 2x2.5A 2.4GHz マルチバースディマーは、5v?30vの直流電流に対応した調光機器です。入力電流は出力ポートの接続された灯体の必要条件を満たした電流をご使用ください。

ユーザーの電源供給機器の直流”+“、”-“ 両方の入力極を、本製品の回路ボード本体にある入力ターミナルポートの直流”+“、”-“の両極に接続してください。

灯体側の+極を、本製品の出力ポートの”+“極側、灯体側の?極を本製品の出力ポートのA,B側にそれぞれ接続してください。

本体にあるA,B,各所のバンプボタンにより、正しくDMX接続されているかをテストすることができます。

ターミネーション・スイッチの設定

ON FOR ALL WIRELESS USE : ターミネーション機能有効

OFF : その他のDMX機器や有線接続された調光機器へDMXスルー接続されている場合にはOFFにしてください。

ON WIRED : 本製品がそのDMXスルー接続における末端の機器である場合に選択してください。

マルチバースやDMX設定に関しては下記のRDMの項目をご覧ください。

### 5-2. マルチバース、DMX、RDMの各設定



**！本製品は出荷時の初期設定として、“有線”モードになっており、RDMIに関してもそこからの変更となります！**

有線モードが初期設定にあるため、ステータス・ライトはグリーンに点灯いたします。

無線モードはブルー、接続が確認されない場合は赤に点灯いたします。

([こちらの図](#)もしくは[エラーコード](#)をご参照ください。)

**有線モードに戻る場合は、全ての設定を出荷時と同様の「初期設定」に戻す必要があります。**その場合は、AとEのバンプ・ボタンを5秒間同時に押しいただき、ステータス・ライトと受信信号の強弱表示ライトが点滅したことを確認してください。

#### 出荷時の初期設定

##### DMXタブ

- RDM Traffic Enable (RDM機能 : 有効)

- DMX Port Label; Label (DMXラベル機能 : ラベル) ユニバース 1
- DMXアドレス 1
- DMX Personality 8ビット (5チャンネル)

#### Dimmer/調光タブ

- Mump Buttons Enable (バンプ・ボタン : 有効)
- Apply to All : No
- Device Label: Default Dim 1 Label (灯体ラベル : Dim 1)
- Curve Logarithmic (LED) 調光カーブ
- Output Response Time 100ms Ramp Time (出力反応速度 100ms)
- Modulation Frequency 5000Hz-LED (周波数変調 5000Hz)
- Control Offset 0 (オフセットによる微調整値 0)

#### マルチバース・タブ

- DMX input Mode (DMX入力モード) Wired (有線)
- SHoW ID 24250
- Antenna Selection (アンテナ選択) Omni
- Output Power (出力パワー) MAX (最大) ・ SHoW Key 0

#### Info (情報タブ)

- DMX Fail Mode (DMX信号喪失時オプション) :
- Hold last look before changing to level (最後に受けた値を保持) : Infinite (無制限)
- Hold level before blacking out(暗転せずに受けた値を保持) : Infinite (無制限)

## 各種設定について

### RDM機能を使用し有線による接続をする場合 :

XLR5Mコネクタ(オス側)から先バラ(メス側)の状態のケーブルを、本体(5916)のDMXターミナルに接続してください。その際、極性を間違わないように注意してください。

XLR Pin 1=共通極、Pin2=DMX-極、Pin3=DMX+極。

City Theatrical社によるDMXcatをはじめとするRDM制御機器を使用することができます。その際、RDMにより"5916"を検知してください。

#### DMXタブ

- RDM機能の有効/無効を、灯体側や制御機器側で切り替えることができます。
- Set DMX Port Label : DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Set Universe : ユニバースの設定 (DMXの送信機と5916の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)
- Set DMX : DMXアドレスの設定
- Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

#### Dimmer/調光タブ

- バンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。

- “Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



“Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。

- Set Device label : 灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Select Dimmer Curve : お好みの調光カーブに設定していただけます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、選択可能な全ての調光カーブが掲載されています。)
- Select Output Response Time : スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、選択可能な全ての反応時間が掲載されています。)
- Modulation Frequency : ビデオ、カメラ撮影などに影響しないフリッカーフリーになるよう、PWM解像度を調整することができます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、詳細が掲載されています。)
- Set Control Offset : 大変低い値で、さらにゆっくりフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。ご使用のカラーテープの点き始めが早すぎる場合など、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に整えることができます。オフセットは-32,768、+32767の範囲で設定することができますが、まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

全てのDMX設定を適用した後、システムの動作をご確認ください。

「センサースクリーン」[センサースクリーン](#)」には、センサータブ、インフォメーションタブの詳細が掲載されています。

#### RDM機能を使用し無線による接続を行う場合 :

City Theatrical 社によるPN5950 / XLR5Pinオス口からコネクタの変換として、3つの端子によるPhoenix コネクタ・オス口や、6”Phoenix コネクタ・メス口を使用していただけのだけではなく、ユーザー自身でコネクタを製造された場合でも、DMXcatをはじめとするRDM機器を使用することができます。

初期設定において5916は有線モードになっていますので、グリーンステータス・ライトが点灯します。RDM機器を使用し、5916を認識してください。

RDMを使用し本製品「5916」を検知してください。

#### DMXタブ

- RDM機能の有効/無効は、ダウストリーム側に接続した際のRDM機能の有効/無効を切り替えることができます。
- Set DMX Port Label : DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Set Universe : ユニバースの設定 (DMXの送信機と5916の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)
- Set DMX : DMXアドレスの設定
- Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

#### Dimmer/調光タブ

- バンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。
- “Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



“Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。

- Set Device label : 灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Select Dimmer Curve : お好みの調光カーブに設定していただけます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、選択可能な全ての調光カーブが掲載されています。)
- Select Output Response Time : スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、選択可能な全ての反応時間が掲載されています。)
- Modulation Frequency : 調光時のパルス周波数を設定することができ、様々な機器への干渉や、テレビ撮影時のカメラシャッターへ対応するためにフリッカーフリーに設定することができます。  
(「[ディマースクリーン](#)」に、詳細が掲載されています。)
- Set Control Offset : 大変低い値で、さらにゆっくりリフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。ご使用のカラーテープの点き始めが早すぎる場合など、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に整えることができます。オフセットは-32,768、+32767の範囲で設定することができますが、まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

### マルチバース・タブ

- (DMX inputモード設定は各種設定後に行います。)
- Select SHoW ID (ユーザーがお使いの送信機と2.4HGzによるSHoW IDを一致させてください。)  
マルチバース送信機、ノード、SHoW Baby、SHoW DMX Neo 等の取扱説明書による、SHoW IDに関する詳細をご確認ください。
- Select Antenna Setting : 初期設定である内蔵のアンテナ(Internal) を使用せず、Omni, Panel, Yagiを使用する場合は設定を行ってください。
- Select Output Power : 初期設定はMAXIになっていますが、その他の値Low, Medium, Highを使用する場合は、設定を行ってください。
- Choose a SHoW Key : SHoW Key設定が必要な際に行ってください。



**ユニバースやSHoW ID、SHoW Keyは送信機と5916の間で一致するように設定してください。**

- 以上の設定後、初期設定である有線モードから無線モードに切り替えてください。切り替えた際、5916を制御できなくなりますが、これは本製品が無線制御対応になったからであり、ブルーのステータス・ライトが点滅しはじめ、DMXを無線受信していないことを表示いたします。ユーザーの送信機からDMXが無線送信され、本製品が受信を開始すると、ブルーのステータス・ライトの点滅は終わり、そのままブルーに点灯いたします。

送信機とSHoW ID, SHoW Key, ユニバースなどが全て一致した段階で、本製品が機能しはじめます。



**RDMを使用して、無線機能を使用中の5916を認識する場合、送信機側でもRDM機能を有効にする必要があります。**

**本製品をはじめとする、City Theatrical社製のUSE接続を使用した有線/無線機能を持つ機器を使用する場合 :**

City Theatrical社のウェブサイト内にあります5916のページから、City Theatrical社製USB Configuratorのダウンロードを行ってください。その後そのソフトウェアをお使いのパソコン (Mac/Win)にインストールしていただくことで、5916とユーザーのパソコンをUSB-マイクロUSBで接続することができます。

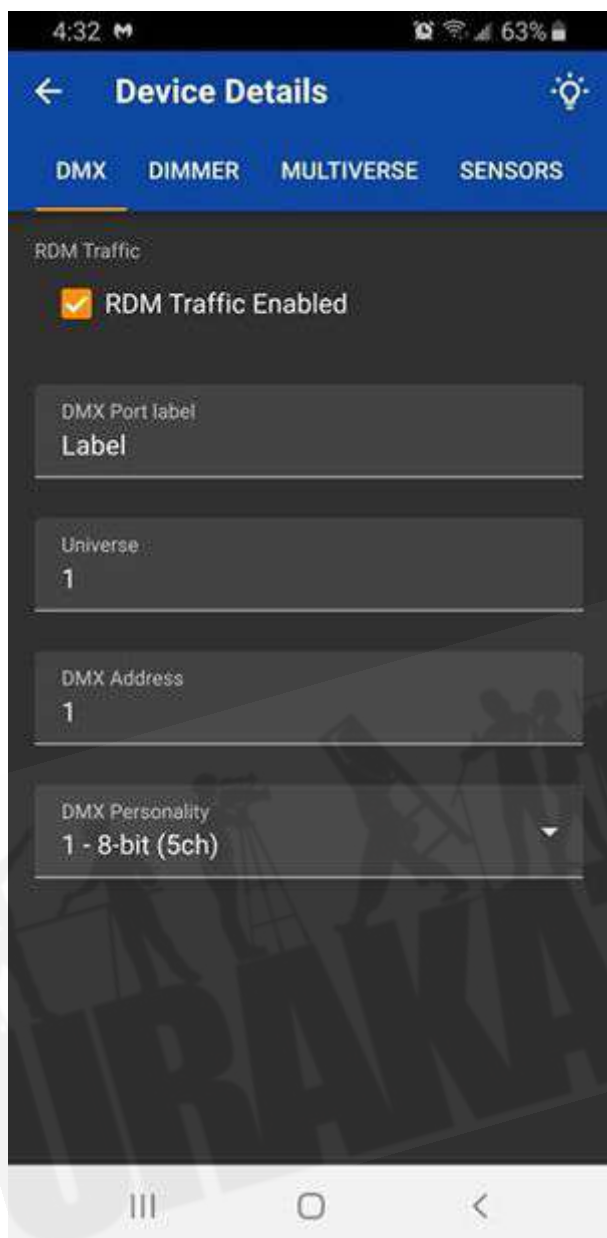
USB Configuratorのプログラム内にあるシリアルポートタブからユーザーが使用している機器のシリアルポートを選択してください。その後、RDM機器から行う操作（上記と同様）をパソコン上から行うことができます。

USB Configuratorを使用することで、有線モードから無線モードに切り替える間も、制御機能を失うことなく簡単に行うことができます。

### 5-3. RDMの設定について

メニューの記載の記載について

5916における全てのメニュー項目はDMXcatをはじめ、そのほかのRDM制御機器、City Theatrical社製のUSB接続による機器などを介して設定変更することができます。以下のスクリーンショットはDMXcatによるものをご確認ください。



## DMX スクリーン

“電球”のアイコンは、RDMによる識別機能であり、設定に該当する灯体は点滅を始めます。

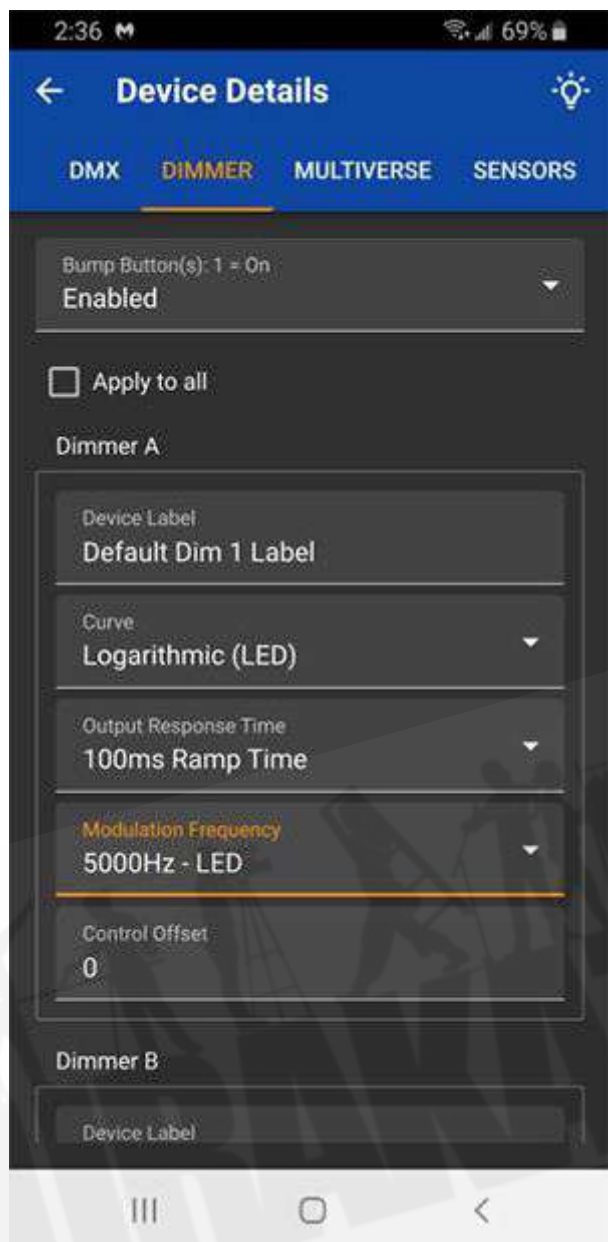
RDM Traffic Enabled : ご使用の5916がダウンストリーム側かどうかを確認し、チェックマークの有無を選択してください。

DMX Port label : 5916のDMXポートへ名前をつけてください。

Universe : ユニバースナンバーを入力してください。

DMX Address : 出力ポートにDMXのスタートアドレスを入力してください。

DMX Personality : 8ビット、16ビットの調光解像度を選択してください。



## ディマースクリーン

バンプボタンのEnabled（有効）/Disabled(無効)の選択

Apply to all : 変更を全てのディマーへ適用する。

Device Label : 機器に名前をつけることができます。

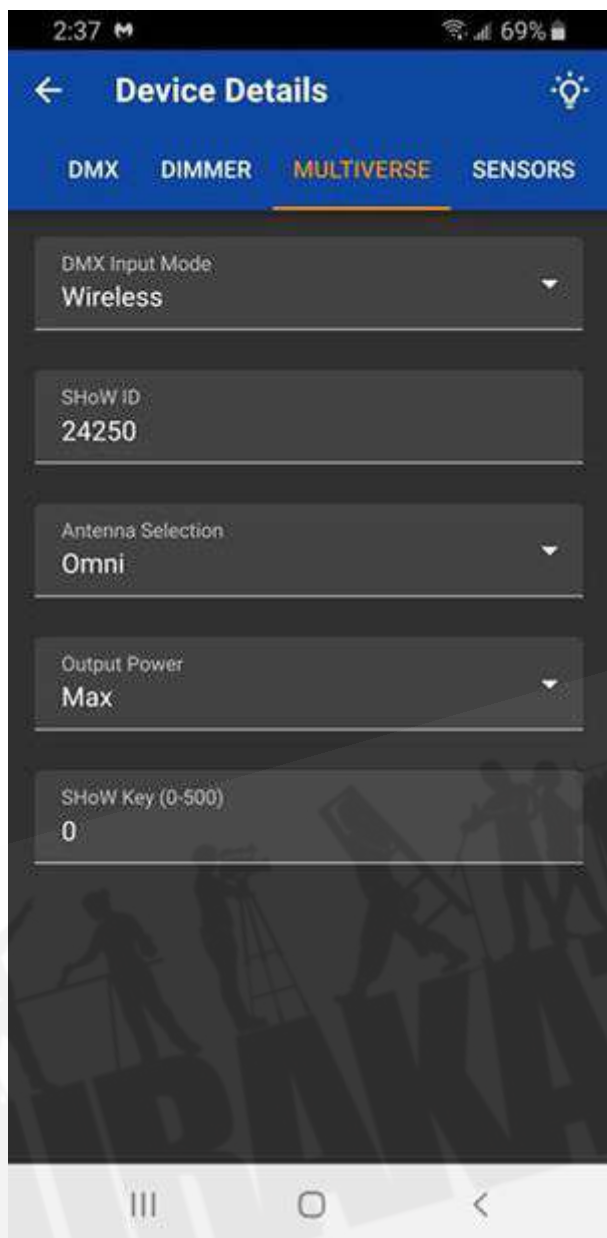
Curve : 初期設定はLogarithmic(LED) その他、Square Law(Incan) (二乗法則カーブ); Linear(ライナー); Non-Dim(直送り)から選択していただけます。

Output response time :出力の反応速度を選択していただけます。 初期設定では100ms, その他10ms~400msの範囲で選択可能です。

Module Frequency : 周波数変調の調整を行うことができます。 初期設定では5000Hz-LED, その他60Hz~50000HzLEDの範囲で調整可能です。

1200Hz のキャンドルモードも内蔵しています。

Control Offset : 各チャンネルの値を微調整することが可能です。 初期設定では0になっています。



### マルチバーススクリーン

DMX Input Mode : 有線モード、無線モードの切り替えを行うことができます。初期設定は有線モードです。

SHoW ID : 初期設定は24250。SHoW IDは送信機と、全ての受信機の間で一致していることをお確かめください。

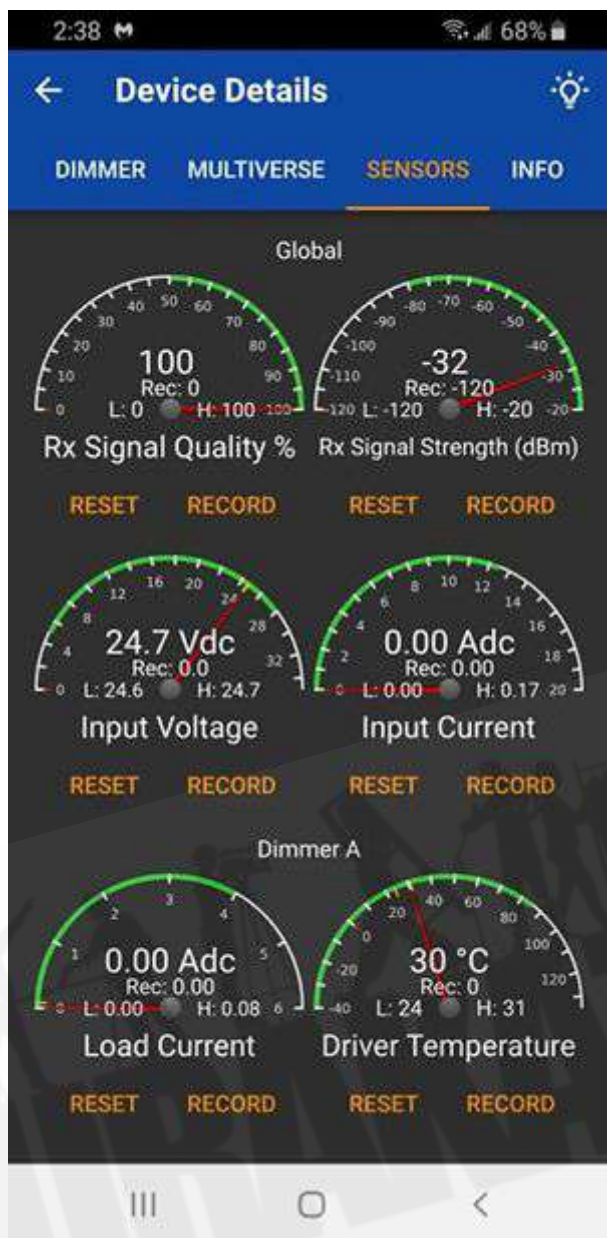
Antenna Selection : アンテナの選択を行うことができます。初期設定はOmni です。

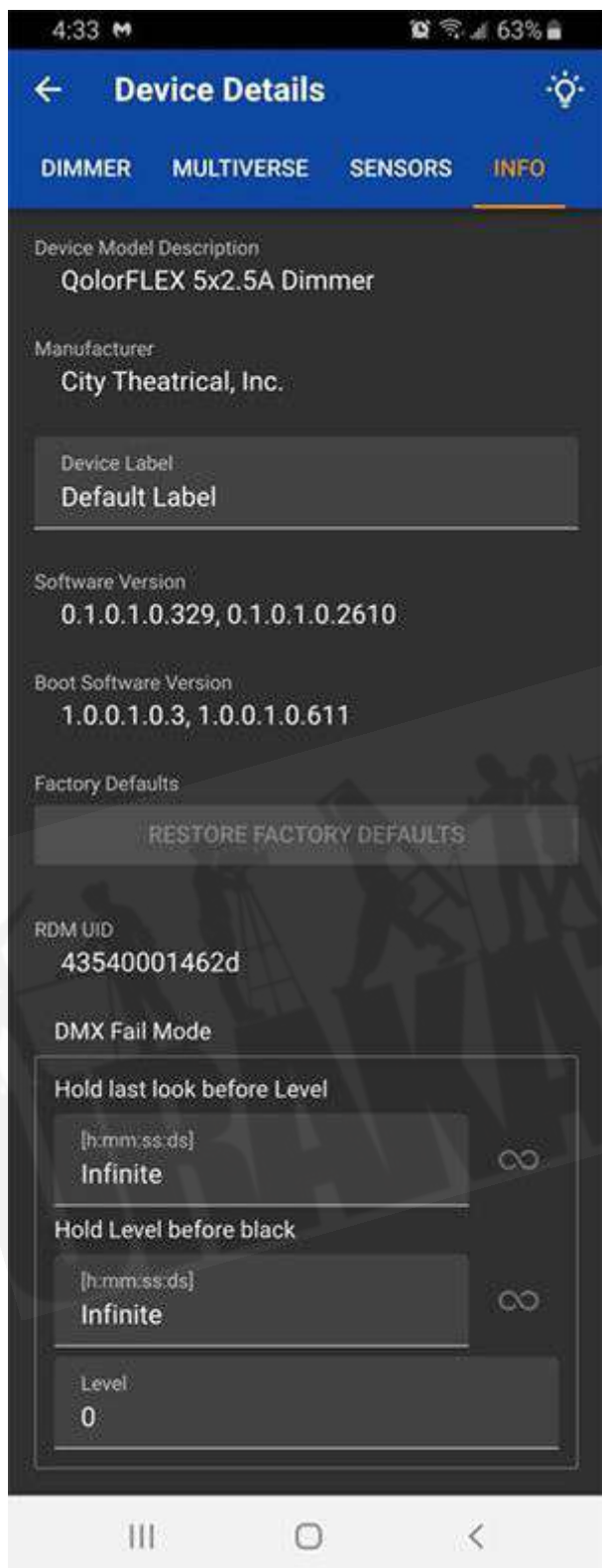
SHoW Key : 初期設定は0。もしこのSHoW Key機能を使用する場合は、送信機と、全ての受信機の間で一致していることをお確かめください。



## センサースクリーン

このセンサースクリーンでは、当製品に関する様々な情報を確認することができます。Record ボタンを押すことで、その後データを比較するために保存することができます。Reset を押すことで、変動している値のリセットを行うことができます。





## インフォメーションスクリーン

Device Module Description: 機器のモデル

Manufacture: City Theatrical社製品表示 (アメリカ製)

Device Label: ご使用の機器の名前設定  
Software Version: ソフトウェアの現在のバージョン

Boot Software Version: ブートローダのソフトウェアバージョン

Factory Defaults: 全ての設定を初期設定に戻すことができます  
RDM UID: RDM UIDの表示

DMX Fail Mode: DMX信号喪失時のモード選択

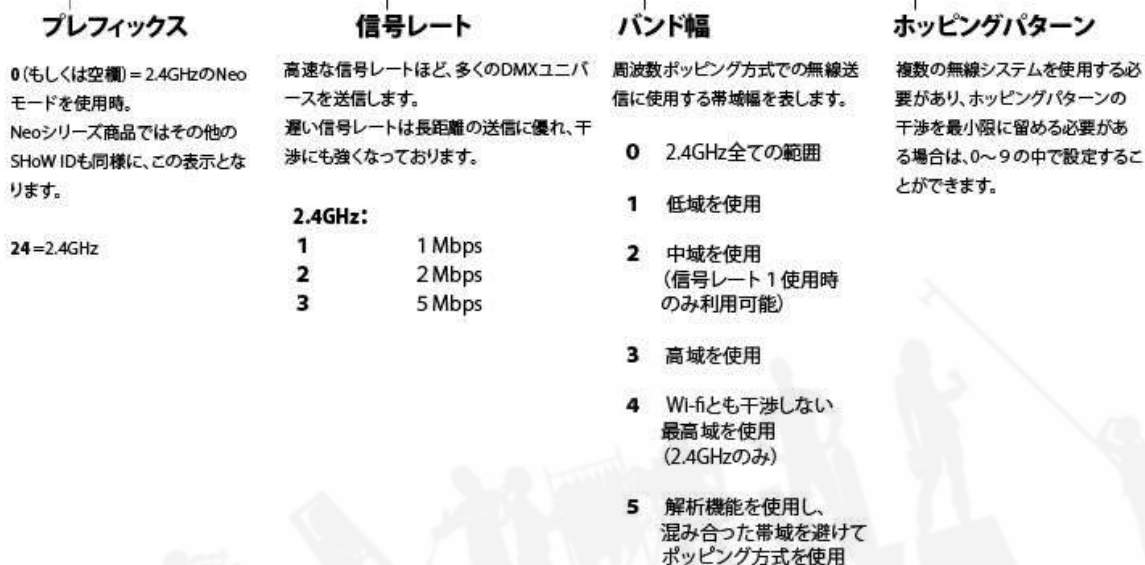
Hold Last look before Level: 最後に受けた値を保持)  
Infinite (無制限)

Hold Level before Black: 暗転せずに受けた値を保持 : Infinite (無制限)

Level: 維持する値の設定

## 5-4. マルチバースSHoW IDの設定

マルチバースSHoW ID例: **24302**



注意: 全ての組み合わせで使用可能というわけではありません。適切な組み合わせを選んでください。

### SHoW DMX Neo SHoW ID

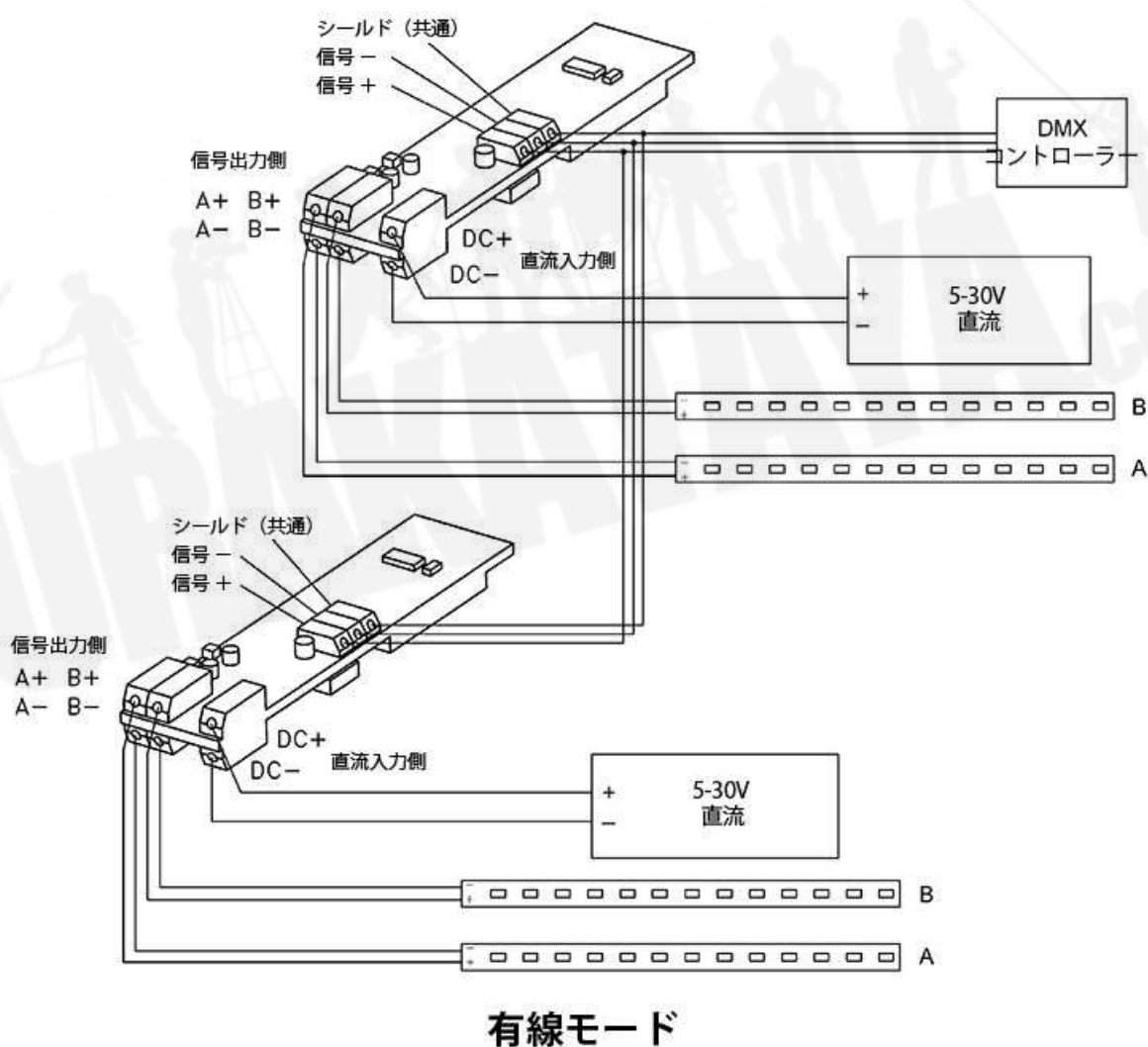
使用する送信機のSHoW DMX Neo SHoW IDや、SHoW Baby SHoW IDは、以下一覧を参照していただき、本体の設定もご確認ください。

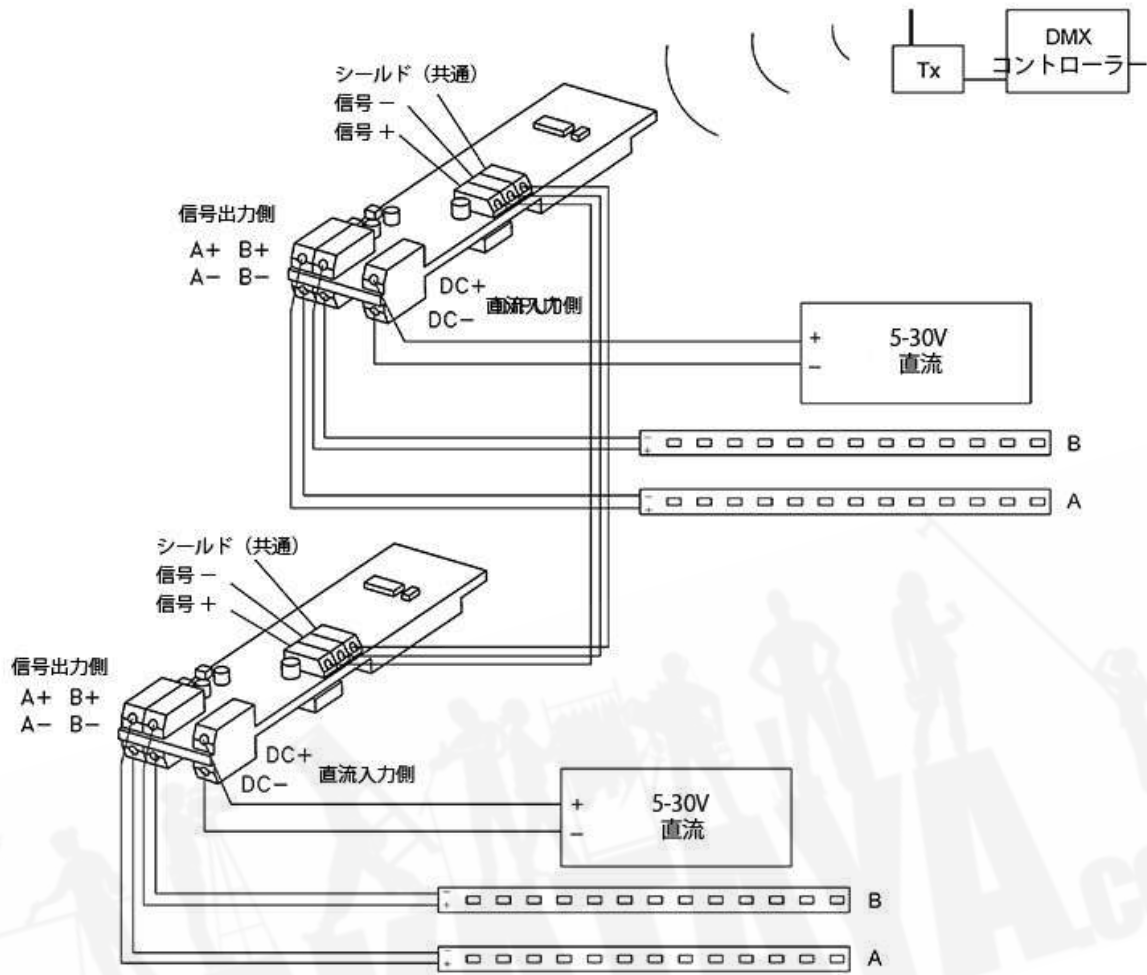
SHoW ID	ブロードキャストエリア
201	Adaptive hopping (適用型 AFH)
102	Full bandwidth hopping (全域型)
117	Low band hopping (低域)
133	Mid band hopping (中域)
149	High band hopping (高域)
165	Max band hopping (最高域)

XLR PIN 構図	
PIN	接続
1	シールド (共通)
2	信号 -
3	信号 +

極性を間違わないように、ご注意ください。

## 5-5. システム図表





無線モード

## 6.トラブルシュート

症状	解決法/チェック項目
電源が入らない	電源が本体に供給されているか、電源供給機器の出力側をご確認ください。
	電源ケーブルから本体への直流接続で、両極がしっかり接続されているかご確認ください。
本体は電源が入ったが、接続されている灯体を制御できない	ランプボタンを押し、灯体が有線にてしっかり接続されているかご確認ください。
	<b>無線モードでの使用時</b> では、SHoW ID、SHoW Key、ユニバースナンバーが送受信機の間で一致しているか、お確かめください。ステータスライトがブルーに点灯しているかご確認ください。 また、マルチバースタブにて、無線モードに選択されているか、ご確認ください。
	<b>有線モードでの使用時</b> では、ステータスライトがグリーンに点灯していることをご確認ください。また、マルチバースタブにて、有線モードに選択されているか、ご確認ください。
	DMXのスタートアドレス設定を確認していただき、照明卓側でもそのアドレスがパッチされ、出力されていることをご確認ください。 DMX信号の極性が合っている事をご確認ください。 XLR Pin 1=共通極、Pin2=DMX-極、Pin3=DMX+極。
その他トラブルシュート	無線システムを使用時では、SHoW ID、SHoW Key、ユニバースナンバーが送受信機の間で一致しているか、お確かめください。
	DMX信号を有線にて接続している場合、DMX信号の極性が合っている事をご確認ください。 XLR Pin 1=共通極、Pin2=DMX-極、Pin3=DMX+極。
	LEDテープなどの機器を接続されている場合、“+”を赤いワイヤーで表示されているものや、同じく“+”でも黒いワイヤーで表示されているものなど、様々です。LEDテープの回路ボードを入念にご確認ください。全てのワイヤーが正しく接続されていれば、ランプボタンを使用することでそれぞれの回路をチェックすることができます。その他のトラブルシュートを行う前に、最初にこの接続確認を行うことをお勧めいたします。
調光に関するエラー表示	ステータスライトが赤くなり、その点滅回数により、以下のエラー症状を表します。 1回、回路のショート 2回、出力容量のオーバー(最大4A以下)

	3回、入力容量のオーバー(最大合計12.5A以下) 4回、出力ポートのオーバーヒート 5回、低電流 6回、過電流
--	---

## 6-1. ファームウェアのアップデート

不定期でのCity Theatrical社によるファームウェアアップデートにより、新しい機能の使用や、それまでのバグを修正することができます。インフォメーションタブにて5916の現在のバージョンを確認することができます。最新の情報は、City Theatrical社のウェブサイトにて表示されており、5916のダウンロードタブから入手可能です。その他、アップデート方法やファームウェアそのものをはじめ、様々な情報を掲載しています。

## 6-2. アクセサリー

P/N	名称
5955	5916/6917用プラスチック製ケース